

石津水再生センター施設維持管理業務 令和7年度 モニタリング結果

放流水の水質基準達成率		項目	単位	定義	目標	実績	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
契約基準	契約基準達成率 (BOD)	%	BOD契約基準達成回数/BOD試験回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (COD)	%	COD契約基準達成回数/COD試験回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (SS)	%	SS契約基準達成回数/S S試験回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (T-N)	%	T-N契約基準達成回数/T-N試験回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (T-P)	%	T-P契約基準達成回数/T-P試験回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (大腸菌数)	%	大腸菌数契約基準達成回数/大腸菌数試験回数×100	100	100	○ ○																								

※月2回実施している放流水質試験の都度、評価する。

エネルギーの使用に係る原単位の削減率		項目	単位	定義	目標	実績値	備考																			
年度末	年間						前年度からのエネルギー原単位削減率 【エネルギー原単位： エネルギー使用量 (kL/年) / 本年度の処理水量 (千m3/年)】	前年度比1.0%削減 (R7年度はR3年度比)																		
※年度末に年間の実績値で評価する。																										

※前年度であるR7年度のエネルギーの使用に係る原単位がR3年度の値を上回っていたため、R3年度の値を基準とする。

放流水質とエネルギーの使用に係る原単位の二輪管理評価		項目	定義	評価																					
二輪管理評価	二輪管理評価			横軸：エネルギー原単位 (kL/千m3) 縦軸：放流水COD濃度 (mg/L)	横軸：エネルギー原単位 (kL/千m3) 縦軸：放流水T-N濃度 (mg/L)																				
※年度末に年間の実績値で評価する。																									

泉北水再生センター施設維持管理業務 令和7年度 モニタリング結果

放流水の水質基準達成率		項目	単位	定義	目標	実績	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	2						1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
契約基準	契約基準達成率 (COD)	%	COD契約基準達成回数/COD試験実施回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (SS)	%	SS契約基準達成回数/SS試験実施回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (T-P)	%	T-P契約基準達成回数/T-P試験実施回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準達成率 (大腸菌数)	%	大腸菌数契約基準達成回数/大腸菌数試験回数×100	100	100	○ ○																								
	契約基準に対する放流水質の水準 (BOD)	-	BOD年平均値 < BOD契約基準値 (5mg/L)	達成	100																									
	契約基準に対する放流水質の水準 (T-N)	-	T-N年平均値 < T-N契約基準値 (14mg/L)	達成	100																									

※月2回実施している放流水質試験の都度、評価する。ただし、BOD及びT-Nは年間で評価する。

エネルギーの使用に係る原単位の削減率		項目	定義	目標	実績値	備考																				
年度末	年間					前年度からのエネルギー原単位削減率 【エネルギー原単位： エネルギー使用量 (kL/年) / 本年度の処理水量 (千m3/年)】	前年度比1.0%削減 (R7年度はR3年度比)																			
※年度末に年間の実績値で評価する。																										

※前年度であるR7年度のエネルギーの使用に係る原単位がR3年度の値を上回っていたため、R3年度の値を基準とする。

<tbl